

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 株式会社 SANKYO
 コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

(氏名) 澤井 明彦
 (氏名) 筒井 公久

TEL 03-5778-7777(代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	46,019	—	9,197	—	10,531	—	6,595	—
20年3月期第1四半期	29,400	△36.4	2,280	△86.2	3,188	△81.7	2,117	△80.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	67.85	—
20年3月期第1四半期	21.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	448,154	373,363	373,363	83.3	83.3	3,877.91
20年3月期	516,821	383,756	383,756	74.3	74.3	3,944.84

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 373,363百万円 20年3月期 383,756百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	132,000	—	33,000	—	35,000	—	21,000	—	215.87
通期	300,000	6.9	82,000	13.4	85,000	12.2	51,000	11.7	524.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 97,597,500株 20年3月期 97,597,500株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,317,850株 20年3月期 316,941株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 97,208,081株 20年3月期第1四半期 97,431,407株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）におけるわが国経済は、原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇圧力により、個人消費に慎重な動きが見られることなどから、景気回復は足踏み状態となり、先行き不透明感も強まっております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコパーラー業界団体の決定により、「北海道洞爺湖サミット」開催前後の6月上旬から7月中旬にかけて全国的に遊技機の入替自粛が実施されました。この間、遊技機の出荷は一時的に停止となりましたが、自粛期間前後におけるパチンコパーラーの遊技機入替意欲は引き続き旺盛に推移しました。反面、パーラーは各メーカーが投入する数多くの新機種の中から、より高い集客力が見込める遊技機を選別する動きを強めており、メーカー間の販売競争は熾烈を極めております。

当社グループにおきましては、このような厳しい環境下、コンセプトを明確にした遊技機の投入により、着実に販売を積み上げる一方、第2四半期に投入予定の大型タイトルのプロモーション活動を積極的に展開してまいりました。

この結果、当第1四半期の連結売上高は460億円（前年同期比56.5%増）、連結営業利益は91億円（同303.4%増）、連結経常利益は105億円（同230.3%増）、連結四半期純利益は65億円（同211.5%増）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

（パチンコ機関連事業）

パチンコ機関連事業におきましては、SANKYOブランドでは、前作で好評をいただいたスピード感のあるゲーム展開を更に進化させた「パトラッシュ2」（平成20年5月）、BISTYブランドではパチンコパーラーの看板商品として定着した「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズから、大当たり確率を高め設定した「プレミアムモデル」（平成20年5月）を販売し、いずれも好調な販売成績を収めることができました。この結果、売上高は297億円（前年同期比194.9%増）、営業利益は79億円（同1,588.3%増）、販売台数121千台となりました。

（パチスロ機関連事業）

パチスロ機関連事業は、パチンコパーラーがパチンコ重視の営業にシフトしていることから厳しい市場環境となり、当社グループにおきましても投入タイトル数を絞り込んだため、前年同期比では減収を余儀なくされました。しかしながら、パチスロファンにも人気定着したSANKYOオリジナルキャラクター「夢夢ちゃん」シリーズにおいて、新たなゲーム性を盛り込んだ「パワフルアドベンチャー」（平成20年5月）の販売が好調に推移し、当社グループのパチスロ市場でのポジションは着実に向上しております。この結果、売上高は117億円（前年同期比20.4%減）、営業利益は42億円（同35.4%増）、販売台数38千台となりました。

（補給機器関連事業）

補給機器関連事業につきましては、売上高40億円（前年同期比2.8%減）、営業利益40百万円（同355.7%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、売上高4億円（前年同期比29.5%増）、営業利益82百万円（同5.6%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末の資産の状況は前連結会計年度末と比べて現金及び預金254億円、受取手形及び売掛金263億円の流動資産の減少を中心として686億円減少しました。負債については、買掛金を中心に582億円減少しました。また、純資産については自己株式の取得等の結果、3,733億円となりましたが、資産負債の減少により自己資本比率は9.0ポイント増加し、83.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月12日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①連結子会社の税金費用の計算においては、税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	135,081	160,556
受取手形及び売掛金	63,571	89,952
有価証券	92,783	98,775
商品及び製品	243	383
仕掛品	589	87
原材料及び貯蔵品	5,483	3,115
その他	16,219	30,037
貸倒引当金	△756	△890
流動資産合計	313,214	382,017
固定資産		
有形固定資産	49,445	49,533
無形固定資産	195	195
投資その他の資産		
投資有価証券	82,574	82,147
その他	3,678	3,807
貸倒引当金	△574	△499
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	85,298	85,075
固定資産合計	134,939	134,804
資産合計	448,154	516,821

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,831	90,730
未払法人税等	2,900	20,857
賞与引当金	1,171	710
その他	15,860	15,266
流動負債合計	69,765	127,565
固定負債		
退職給付引当金	2,510	2,449
役員退職慰労引当金	533	1,210
その他	1,981	1,840
固定負債合計	5,025	5,499
負債合計	74,790	133,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,883	23,883
利益剰余金	341,747	344,898
自己株式	△8,903	△1,570
株主資本合計	371,567	382,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,796	1,705
評価・換算差額等合計	1,796	1,705
純資産合計	373,363	383,756
負債純資産合計	448,154	516,821

(2) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)	
当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	46,019
売上原価	22,591
売上総利益	23,428
販売費及び一般管理費	14,231
営業利益	9,197
営業外収益	
受取利息	504
受取配当金	164
持分法による投資利益	503
その他	201
営業外収益合計	1,374
営業外費用	
支払利息	1
その他	38
営業外費用合計	39
経常利益	10,531
特別利益	
貸倒引当金戻入額	59
特別利益合計	59
特別損失	
固定資産廃棄損	12
その他	1
特別損失合計	14
税金等調整前四半期純利益	10,577
法人税、住民税及び事業税	2,976
法人税等調整額	1,004
法人税等合計	3,981
四半期純利益	6,595

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	10,577
減価償却費	856
引当金の増減額(△は減少)	△213
受取利息及び受取配当金	△669
支払利息	1
持分法による投資損益(△は益)	△503
売上債権の増減額(△は増加)	26,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,734
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,898
その他	13,571
小計	6,367
利息及び配当金の受取額	845
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△20,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△763
有価証券の償還による収入	1,000
投資有価証券の取得による支出	△8,005
投資有価証券の償還による収入	8,000
貸付けによる支出	△200
貸付金の回収による収入	5
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△7,335
配当金の支払額	△9,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,466
現金及び現金同等物の期首残高	226,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	195,862

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	パチンコ機関連事業 (百万円)	パチスロ機関連事業 (百万円)	補給機器関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	29,748	11,759	4,091	420	46,019	—	46,019
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	—	1	(1)	—
計	29,749	11,759	4,091	420	46,021	(1)	46,019
営業利益	7,959	4,238	40	82	12,320	(3,123)	9,197

(注) 1 事業区分の方法は販売品目系統によって区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機関連事業 ……パチンコ機、パチンコ機ゲーヅ盤、関連部品及びパチンコ機関連ロイヤリティ収入
- (2) パチスロ機関連事業 ……パチスロ・パロット機、関連部品及びパチスロ機関連ロイヤリティ収入
- (3) 補給機器関連事業 ……パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器及び補給機器関連ロイヤリティ収入
- (4) その他の事業 ……不動産賃貸収入、一般成形部品その他

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得しております。この結果、当四半期連結会計期間末において自己株式が73億円増加しております。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月 1日) (至 平成19年6月30日)
	金 額
I 売 上 高	29,400
II 売 上 原 価	18,339
売 上 総 利 益	11,061
III 販売費及び一般管理費	8,781
営 業 利 益	2,280
IV 営 業 外 収 益	944
V 営 業 外 費 用	36
経 常 利 益	3,188
VI 特 別 利 益	—
VII 特 別 損 失	8
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	3,179
法 人 税 等	1,061
四 半 期 純 利 益	2,117

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月 1日) (至 平成19年6月30日)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,179
減価償却費	869
引当金の増加額	292
受取利息及び受取配当金	△ 498
持分法投資利益	△ 298
売上債権の減少額	1,919
たな卸資産の増加額	△ 8,211
仕入債務の増加額	22,589
その他	△ 29,811
小 計	△ 9,970
利息及び配当金の受取額	357
法人税等の支払額	△ 7,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,394
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還等による収入	1,700
有形無形固定資産の取得による支出	△ 1,705
投資有価証券の取得による支出	△ 12,509
投資有価証券の償還等による収入	8,000
その他	△ 538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,053
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式取得による支出	△ 2
配当金の支払額	△ 4,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,876
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 27,324
VI 現金及び現金同等物の期首残高	195,157
VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	—
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	167,832

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	パチンコ機関連事業 (百万円)	パチスロ機関連事業 (百万円)	補給機器関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	10,085	14,780	4,209	324	29,400	—	29,400
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	—	0	(0)	—
計	10,086	14,780	4,209	324	29,401	(0)	29,400
営業利益	471	3,130	8	87	3,698	(1,417)	2,280

(注) 1 事業区分の方法は販売品目系統によって区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機関連事業 ……パチンコ機、パチンコ機ゲーヅ盤、関連部品及びパチンコ機関連ロイヤリ
ティ―収入
- (2) パチスロ機関連事業 ……パチスロ・パロット機、関連部品及びパチスロ機関連ロイヤリティ―収入
- (3) 補給機器関連事業 ……パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器
及び補給機器関連ロイヤリティ―収入
- (4) その他の事業 ……不動産賃貸収入、一般成形部品その他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

該当事項はありません。